

学びふれあい 心豊かに

生涯学習

生涯学習活動紹介

本場の発音に挑戦

たのしく学ぶ

中国語講座

角館公民館では、1月16日から全5回（毎週木曜日）の日程で「たのしく学ぶ中国語講座」を開講しました。



真剣に講座を聞く様子。

講師に田村雄幸氏と中国出身のネイティブALTを迎え、あいさつをはじめとする日常的なコミュニケーション・会話を中心に、単語や本格的な発音方法について丁寧な指導をいただきました。



／ おいしく！



本場の味を食卓に。

生涯学習課 ☎43-3383
田沢湖公民館 ☎43-1061
角館公民館 ☎54-1110
西木公民館 ☎47-3100

韓国料理教室

美味しく仕上がりました

田沢湖公民館では、1月15日、田沢湖健康増進センターを会場に「韓国料理教室」を行いました。講師に、朴敬姫（パクキョンヒ）氏を迎え「韓国海苔巻きのキンパ」と「ビビンバ」の作り方を教わりました。はじめに、本場韓国から取り寄せた材料と身近にある食材を使って2種類のキンパを作りました。教室の最後には、お楽しみの試食会が行われ、韓国の食文化などいろいろな話題を提供する朴氏と談笑しながら、参加者は楽しそうに交流を深めていました。

ヘルシーにでき上がりました

朝紫（古代米）を使ったおはぎ作り教室

角館公民館では、1月22日・23日に「朝紫（古代米）」を使ったおはぎ作り教室を旧石黒（恵）家で行いました。



色とりどり！

講師の浅利久美子氏から材料の配分や仕上げまで丁寧な指導を受けながら参加者は色とりどりの和菓子を作成させていました。試食タイムの中で、最近おはぎなどを作れる人が少なくなってきたので、今後も郷土料理やお菓子作りを学べる機会を設けて欲しいとの要望が多くありました。



分量の配分を学んでいる様子。

冬景色をバックに

写真撮影会

西木公民館では、1月21日「なかや写真クラブ」の皆さんからご協力をいただき、冬の角館武家屋敷の撮影会を行いました。今冬は降雪量が少なく、雪景色の武家屋敷を撮影できるか心配でしたが、前夜に降った雪と当日の好天に恵まれ、光の変化による写真の撮り方や違いについて、講師の高橋寛氏（あおば写真）から指導していただきました。



雪景色の武家屋敷通りにカメラを向けて。



／ 白と黒のコントラスト／

心豊かな教育文化のまち

《仙北市教育委員会だより》

またうら

第100号

角館小学校 匠の技を学ぶ

～お米を使った料理教室～

1月28日、角館小学校5年生を対象に「お米を使った料理教室」が行われました。角館小学校は地域の力を借りながら、田植え・稲刈り・脱穀・調理といった様々な面で、その道の「匠」から技術を学ぶ学習を行っています。今回は子どもたちが楽しみにしていた調理です。

JA秋田おばこ婦人部の方々に教わりながら、子どもたちは米粉パンケーキ・おにぎり・おはぎ・ライスピザの4品を作りました。鈴木優さんはパンケーキをひっくり返すのにチャレンジ。「大きくて切れてしまいそうで大変だった。匠がすごく上手だった」と語ってくれました。また、子どもたちが夢中になっていたのがおはぎ作りです。餅米をつぶすのが楽しそうで、歓声を上げながら作業に取り組んでいました。



米粉パンケーキ作りの1コマ。

実際に食べてみると「ウマッ」という声があちらこちらから聞かれます。米粉パンケーキの独特の食感や、初めて食べるライスピザの味に感動した子どもたちが多かったようでした。船木まきさんは、「自分たちが作ったお米がこんなおいしい料理になって嬉しい。家でも作ってみたい」と語ってくれました。活動の最後に、JA秋田おばこの担当者から「あぐりスクール修了証」を受け取った子どもたち。仙北市の「匠」の技をしっかりと受け継いでいってほしいと思います。

桧木内中学校

朝の読書をちょっとアレンジ

毎朝の読書の時間は、自分で選んだ本を静かに集中して読むことができる落ち着いた一日の始まりです。桧木内中学校ではこの時間に「工夫に加え、金曜日には「新聞を読むこと」に全校生徒で取り組んでいます。1月24日朝8時15分、全校生徒がランチルームに集合しました。今回は四つのテーマを定め、選んだテーマに沿った記事を探す活動です。同じテーマでも生徒によって選ぶ記事が違います。そこが面白いところです。集めた記事をテーマごとの台紙に貼り、全体的に見て「今どんなことが世の中で話題になっているのか」を考えます。

普段から朝や帰りの会の中で、気になった新聞記事や学級で紹介し合い、感想や考えを交流しています。また、他学年へ出向き、記事を紹

介する活動も行っています。今回のテーマは「歴史」「地域」「健康」「オリピック」の四つです。他の人がどんな記事を選び、どんな考えをもつのか、交流する中で発見していくことも活動のねらいの一つです。3年生の浅利華那さんは「普段と違う活動があるのはいい。新聞を読むことはあまりないので、学校で時間をとることはいい機会だと思っ。なかなか興味がない話題でも、記事を読んでみることで発見がある」と話してくれました。



気になる記事がどんどん見つかる！

生保内中学校

仙北市の宝物 玉川温泉

生保内中学校3年生の理科の授業で東北大学大学院職員による、玉川温泉水と廃材アルミニウムから、水を生成させる実験を行いました。

玉川温泉水にアルミニウムを入れ、しばらくすると水素の泡がたくさん出てきました。生徒たちは食い入るように様子を見つめます。そして、その水素を燃料電池に入れると発光ダ

イオードが見事点灯しました。水素発生には、温泉水でもよいわけではありません。酸性度が強い玉川温泉水でないと水素がたっくさん発生しないそうです。

水素を使う燃料電池は二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーとして注目を集めています。新田目真弥さんが「廃材のアルミだけじゃなく、鉄くずではダメなのか」と質問するなど、生徒たちは次世代エネルギーについて真



「おおっ〜！」水素LEDが点灯し歓声が上がります。

剣に考えていました。仙北市にある宝物にまた一つ気づくことができました。